

J Aバンク香川における地域密着型金融の取組状況（平成 29 年度）

J Aバンク香川（香川県農業協同組合と香川県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、平成 28～30 年度 J Aバンク香川中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んできました。

平成 29 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1. 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

J Aバンク香川は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

(1) 農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク香川は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 30 年 3 月末時点の J Aバンク香川の農業関係資金残高^(注1)は 8,190 百万円（うち農業経営向け貸付金 5,733 百万円）、日本政策金融公庫等の受託貸付金^(注2)残高は 632 百万円を取り扱っています。

(注)

1. 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。
2. J Aバンク香川が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱を行っています。

【営農類型別農業資金残高】 単位 百万円

	平成 30 年 3 月末現在
農業	5,733
穀作	1,107
野菜・園芸	1,050
果樹・樹園農業	199
工芸作物	9
養豚・肉牛・酪農	865
養鶏・鶏卵	294
養蚕	—
その他農業	2,206
農業関連団体等	2,456
合計	8,190

(注)

1. 「その他農業」には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者および農業サービス業が含まれています。
2. 「農業関連団体等」には、J Aや全農(経済連)とその子会社等が含まれています。

【資金種類別農業資金残高】

単位 百万円

種 類	平成30年3月末現在
プロパー農業資金	7,567
農業制度資金	622
農業近代化資金	59
その他制度資金	563
合 計	8,190

(注)

1. 「プロパー農業資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
2. 「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金をJAバンク香川が転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンク香川が低利で融資するものを対象としています。
3. 「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

単位 百万円

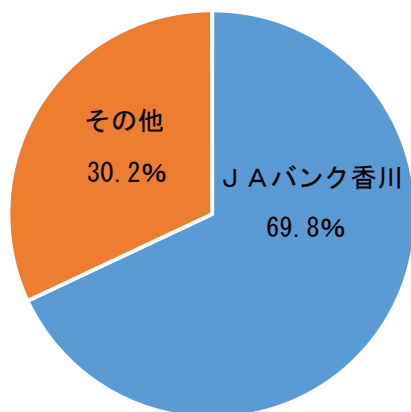
種 類	平成30年3月末現在
日本政策金融公庫資金	632
そ の 他	—
合 計	632

(注) JAバンク香川では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

JAバンク香川は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

【香川県の農業近代化資金の取扱シェア】

近代化資金の取扱シェア
(平成29年12月末時点)
出所：農林水産省



(2) 担い手のニーズに応えるための取組み

J Aバンク香川では、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取組みを行っています。

J Aでは、本支店の農業融資担当者が営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。これを支える体制として、豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を、平成 29 年度末時点で J A に 1 名配置しています。

J A 系統独自の農業融資資格制度「J Aバンク農業金融プランナー」を導入しており、有資格者は平成 29 年度末時点で県内に 78 名誕生しています。農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応えていくことを目的としています。

信連では、J A のサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築しており、これらの機能の拡充、強化に努めています。

(3) J A 内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズに J A をあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、J A 内事業間連携を強化しています。

(4) 農業メインバンク C S 調査の実施と結果の活用

J Aバンクでは、J A の農業融資に対する率直なご意見・ご感想をお伺いすることを目的として、お客様満足度の計測（農業メインバンク C S 調査）を行っています。

得られた結果を活用しながら、農業者の声により応えることが出来るよう、農業メインバンク機能の一層の強化に取り組んでいます。

2. 担い手の経営のライフステージに応じた支援

J Aバンク香川は、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 次世代農業者の育成支援

J Aバンク香川では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金等を取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱実績】

単位 件、百万円

	平成 29 年度 実行件数	平成 29 年度 実行金額	平成 30 年 3 月末 残 高
青年等就農資金	50	237	483
就農支援資金	-	-	119
JA 新規就農応援資金	-	-	-
合計	50	237	602

【新規就農応援事業の取扱実績】 単位 件、百万円

	平成 29 年度 助成件数	平成 29 年度 助成金額
新規就農者営農支援事業	44	8.8
新規就農研修支援事業	22	13.53

(2) 農商工連携の推進

J Aバンク香川は、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の架け橋」として多様な機能を発揮しています。

【平成 29 年度 商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	参加 団体数	総来場 者数	内容
J A・J Fグループ近畿商談会	平成 29 年 11 月 16 日	近畿・四国 地区の J Aバンク	セラー 123 団体	バイヤー 約 340 社	商談会やビジネスマッチングの場の提供、6次産業化や農商工連携への支援

(3) J Aバンク香川講演会・セミナー等の開催・参画

J Aバンク香川では、一流の経営者を招いた講演会や、6次産業化・輸出・ファンドに関するセミナー等を開催し、担い手の経営力向上に貢献しています。

【平成 29 年度 講演会・セミナー等開催・参画状況】

講演会・セミナー名	開催日	主催者	対象 参加者	参加 者数	内容
平成 29 年度 農業経営者セミナー	平成 30 年 3 月 20 日	香川県農協 香川県信連 農林中金高松支店 香川県農業会議	農業者 農業法人 関係団体	93 名	講演 「経営拡大に向けた 財務基盤強化について」

(4) 農業法人とのネットワーク拡大

J Aバンク香川では、農業法人とのネットワーク拡大、関係強化に取り組んでいます。

3. 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底

J Aバンク香川では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 資本供与の取組み（ファンドの活用）

J Aバンク香川では、農業振興や環境に貢献する取組みを行う企業に投資し、その成長を支援しています。

(2) 6次産業化の支援

J Aバンク香川では、担い手の所得向上を支援するために、生産と販売のマッチング機能強化や、需要拡大が見込める分野の事業展開支援、いわゆる6次産業

化促進支援を行っています。

(3) 負債整理資金による経営支援

J Aバンク香川では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成 29 年度 負債整理資金の貸出実績】

単位 件、百万円

資金名	実行件数	実行金額	平成 30 年 3 月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	-	-	-
畜産特別資金	-	-	37
その他	-	-	-
合計	-	-	37

- ・ 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。
- ・ 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。

4. 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク香川では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

(1) 食・農への理解促進

J Aバンク香川は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、平成 29 年度には県下の小学校 159 校へ 10,090 冊、特別支援学校等に特別支援教材 28 冊を届けました。

平成 30 年度版補助教材の贈呈については、J Aバンク香川の役職員が、補助教材「農業とわたしたちの暮らし」を小学生に直接手渡す贈呈式を県内の 3 小学校で実施し、学校での食農教育の実際と補助教材の活用方法について小学生や教諭から直接感想を聞くなど意見交換を行いました。



補助教材の贈呈式

また、県下 J A では、食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【 J A バンク 食農教育応援事業による活動内容】

J A 名	活動名	活動内容
J A 香川県	農業体験	小学生が青壮年部指導の下、水稻栽培を実施しました。
J A 香川県	郷土料理クラブ	老人会の指導の下、小学校児童の希望者を対象に郷土料理教室を実施しました。

全国各地の J A では、食農教育などの実践活動が取り組まれており、これらの取組みに対して、 J A バンクアグリ・エコサポート基金から費用助成を行ってサポートしています。

香川県下では、平成 29 年度に 28 件の取組みに対して、4,249,705 円の助成が行われました。

(2) 地方創生への取組

J A バンク香川では地方創生への取組みに積極的に関与するため、香川県が策定した「かがわ創生総合戦略」の政策目標のうち「農林水産業の担い手の確保・育成」に呼応し、 J A 香川県の農業インターン修了者が新規就農に従事する場合、当会が営農費用の一部を助成することにより、就農直後の経営の安定化を図ることを目的として、「 J A バンク香川新規就農助成要領」を平成 28 年 4 月 1 日に制定し、16 名に助成を行いました。今後も J A 香川県担い手サポートセンターおよび各農業金融センターと連携し、 J A 自己改革が目指す農業振興による農業所得の増大と地域活性化に貢献していきます。

また、県内の中学生を対象に、県内で生産される農産物の種類や産地、日々の食生活が地域農業と深く関わっていることへの理解と、県内で生産された農産物を県内で消費する地産地消の普及促進を図ることを目的に「中学生による こだわり夕ごはん（地産地消&オリーブ牛）料理コンクール」を開催し、51名の生徒から41作品の応募がありました。これらの応募作品を厳正に審査し、最優秀賞を含む上位5作品を選定のうえ、本コンクールの入選結果、調理風景、全応募作品等を掲載した冊子を作製し、県下中学校に配付しました。

以 上